

常任委員会の動き

総務文教常任委員会

◆委員

委員長 大谷久美子

副委員長 井上 正雄

委員 渡辺 精郎 水口 典一

渡邊 龍之 柴田 文男

◆まち自慢のパークゴルフ場建設について

市民の皆様から要望されていたパークゴルフ場の基本運営計画が示されました。なお、昨年度10万円の調査経費、今年度は714万円の施設設計委託料が予算化されています。

○基本運営計画の概要

本市には既存のパークゴルフ場が8か所ありますが、コース数が少なく、芝等の管理が十分ではないために、充実したコースの整備を望む声が上がっていました。本市には、平成橋の上下流に広がる石狩川河川敷に、平成14年に休止した市民ゴルフ場の「つつじコース」があり、現在は公園として必

要な芝刈りを滝川振興公社に委託しています。この芝を活用すること

とで、新規に造成するよりも事業費を抑えたパークゴルフ場への転用が可能です。石狩川河川敷の広さを十分活用し、8コース(72ホール)と無料コース2コース(18ホール)の造成を計画しています。72

ホールを造成することで、質の高いコースを維持するために定期的にコースを休ませ芝の養生をさせることができ、各種大会に36ホールを使用しても、一般利用者には残りのコースで通常通りの利用が可能です。本市は交通の便も良く、外客誘致も期待でき、大会開催による地域の活性化も期待されます。

事業費は、コース造成費・コース備品費・養生管理費等で約9、100万円、事業費財源として交付金3、320万円、起債2、988万円、一般財源2、797万円と試算しています。整備スケジュールは、平成25年度補助要望・実施計画、26年度第1期工事、27年度第2期工事、28年度8月オープン

の予定です。利用料金については一定のコース品質を保つ、運営費をまかなえる、市民の利用に対し還元を図る等を考慮し、更に検討しています。

パークゴルフは、年齢や体力による差が大きく出ないので、誰にでも楽しむことができ、健康の増進や、ストレス解消、コミュニケーションづくりにも最適とされています。

○議会での多様な質疑

本会議や本委員会では、「新規に造成しない、既存のパークゴルフ場を整備すべき」「こんなに大きなパークゴルフ場が必要なのか」「運営は大丈夫なのか」等たくさんの質問が出されました。パークゴルフ協会や市老連の方等の意見を聞きながら進めてきましたが、市民の皆様にも説明と意見を聞く場が設けられますので、是非参加して意見を述べてください。



◆滝川第三小学校改築事業について

開西中学校に続いて滝川第三小学校の改築事業に着手しました。

平成23年度に保護者、地域代表者等からなる滝川第三小学校改築検討市民会議を立ち上げ、改築について検討してきました。

廊下の壁を取り払った自由な学習環境(オープン教室)、ピンネシリが眺望できるバルコニー、子ども達の憩いの場「デン」の設置、防犯対策として職員室・校長室を一階に配置し、玄関はオートロック、防災対策としては災害時の避難場所として備蓄倉庫、マンホールトイレ・カマドベンチ、防災水槽、外部電源設備、太陽光蓄電池を設置します。子ども達の原風景として残る校舎、子ども達のアトワークを取り込んだ校舎の実現、旧校舎の記憶を残す等細かい配慮がされています。工事費は親子共同調理場、解体工事、外構工事等を含めて約24億5、400万円で、国庫補助金7億8、000万円、起債13億8、400万円、一般財源2億8、900万円で、本年5月にプール解体、6月工事着工、平成27年3月に校舎等完成となり、4月から供用開始、10月に旧校舎解体、グラウンド整備等が終了し、工事完了予定となっています。